

館山航空基地における横田基地所属CV-22オスプレイの
予防着陸について（口頭要請）

令和3年12月6日、横田基地周辺市町基地対策連絡会を構成する自治体のウェブサイトにおいて、令和3年12月2日に北関東防衛局からの情報提供があったことが分かった。内容は、「横田基地所属CV-22が12月1日午後9時頃、千葉県館山航空基地に予防着陸。怪我や損害なし。航空機は、今夜、残留する可能性が高く、明日、評価される。」とのことである。

飛行中の機体のトラブル発生は、人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。

本年6月及び9月にも、横田基地所属のCV-22オスプレイが予防着陸する事案が発生しており、トラブルの再発防止等を要請したにもかかわらず、このような事態が半年の間に三たび発生したことは、極めて遺憾である。

貴職においては、このような状況を十分に認識され、下記のとおり対応するよう要請する。

記

- 1 予防着陸に至る経緯を明らかにするとともに、トラブルの原因究明を行い再発防止の徹底を図ること。
- 2 横田基地所属航空機の点検整備を強化するとともに、安全が確認されるまでの間、CV-22オスプレイの飛行を中止し、安全確保の徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を当市に速やかに提供すること。

令和3年12月8日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリューJ. キャンベル大佐 殿

あきる野市長 村 木 英 幸